

公開シンポジウム

サステイナビリティと ジェンダー

科学と人類の未来を担う新たなパートナーシップを求めて

Sustainability
Gender

舘 かおる 本学大学院 / IGS 教員

「趣旨説明：サステイナビリティとジェンダー
——科学と人類の未来を担う新たなパートナーシップを求めて」

菅野 琴 本学 IGS 客員研究員 / 元ユネスコ本部職員

「持続可能な開発のための教育 (ESD) 世界会議の動向とジェンダー視座
からの視点」

二村 まどか 国連大学専門職員

「国連大学のサステイナビリティ関連事業の展開とジェンダー視点」

佐崎 淳子 国連人口基金 UNFPA 東京事務所長

「人口問題と男性のリプロダクティヴ・ヘルス」

高雄 綾子 フェリス女学院大学専任講師

「ドイツにおける反原発運動とESD」

集中講義「国際社会ジェンダー論」を踏まえ、学外から国際開発協力の専門家や、国連諸機関の関連事業に関わるゲストを迎え、公開シンポジウムの形態で授業を行う。シンポジウムは、生態系の連鎖や科学のあり方及び両性の公平なパートナーシップ等について、ジェンダー視点で論じることを目的とする。

2014 年に予定されている「持続可能な開発のための教育 (ESD) の世界会議」の開催に向けて、男性のリプロダクティブヘルス・ライツを含めたジェンダーの視座からの活発な論議を意図している。ゲストには、「性と生殖」と持続可能性を問題化している国連機関関係者、研究者や NGO などが参加。

5.29 水
17:30 ~ 20:00
お茶の水女子大学
本館 135 室
(カンファレンスルーム)

参加申込：参加費無料 参加希望者は、右記 URL から申しこみください。 <http://www.igs.ocha.ac.jp>